

## 表紙について

明治44年、専修学校創立30周年を記念した講堂が竣工されました。表紙は、その建物を創立者の一人である田尻稲次郎の二男・青柳瑞雄が描いたものです。講堂内の教室では、当時会計検査院長であった田尻稲次郎の講義も行われていました。なお、講堂の向かって左側には田尻の還暦を記念した書庫も併設されており、その文庫目録からは経済や法律などに関する多くの書籍を見ることが出来ますが、残念ながら関東大震災によって講堂とともにすべて焼失してしまいました。